

学生支援報告会議事録

開催時期：平成 28 年 12 月 3 日 18：30～

開催場所：ホテルニュープラザ

出席者：柳瀬会長 陣内副会長 林副会長（以下敬称略） 原田 牛島 梶山 重野 青木 山手 石橋（佐賀）
鈴木（佐賀） 江藤 稲吉

学生フォーミュラプロジェクト：内藤 木原

愁華祭実行委員会：古賀 井出 柳原 中垣

製造業コマ大戦プロジェクト：大西 内木場 不明 不明

吹奏楽団：伊藤 林 不明

議事録作成：牛島

1. 報告会

①学生フォーミュラプロジェクト

今年は技術・経験のある人員不足。プロジェクトは前年 10 月開始。3 人で車両設計し、4 月以降に 1 年生が 8 人加入。大学院 3 人、4 年 0、3 年 7、2 年 2、1 年 8 の計 20 名。スポンサー 28 社。

・来年の目標「車両の証明」

今までマイナーチェンジばかりで動的審査がクリアできなかった。車両の早期シェイクダウン（2017 年 1 月末を目標）。7 割のアッセンブリーが終了。今年は 300～500 時間走行したい。第 5 駐車場や自動車学校で走行予定。アクセラレーションで自己ベスト更新。

→1 年は何人残っているか？→入れ変わりはあるが、8 人くらい

②愁華祭実行委員会

7 割が参加していない、新しいことをしたら興味を持ってもらえるかも？と考えた。模擬店、前年より +3。景品強化（旅行券）。外部関係者と連携（学サ、同窓会、ラーニングコモンズのキッコロとは林政彦先生・ピーターフランク先生講演会を同時開催）。ステージ企画を +1。来場者延べ 4,000 人。雨天決行がマイナス要因となった。

→未払い金を報告書に記載しておいたほうがいい。

→具体的なことを次年度に申し送れるようにしておく必要がある。報告会でも課題を明確にしておくべき、次年度に課題が達成できたか確認できるように。

③コマ大戦プロジェクト

全体的に大学や高校の参加が増えてきている。勝者は敗者のコマをもらえる→技術の向上を図れる。

・佐賀県大会特別場所 8 グループに分かれて対戦。重量級・軽量級関係なく対戦。

→サイズに規格はあるのか？→静止時のみサイズ規格あり、動いている時は関係ない。

今後は、製作期間の確保が必要。来年 10 月に久工大場所開催予定（今後企業のピックアップと資金を行う）。地域連携推進室に協力を仰ぐ。会場 131 教室、その後食堂で懇親会を予定。

→盛り上がってほしい。その為には企業がかかわることが必要。企業との技術交流。技術的なものだけでなく、エンジニアリング視線で、テクノロジカルな感覚で製作してほしい。

④吹奏楽団

・8 件の依頼演奏

・10/9 吹奏楽の日（久大・久工大・佐賀大でコンサート。今年から参加。西鉄久留米ロータリーで実施、計 100 名参加。150 名位のお客さん。久大との合同練習を行っている。

・白山（熊本）11/19

・定期演奏会 12/11

・2年団長を務めての課題点→今まで年間11回くらい演奏会。普段の練習が若干厳しくて、やめる人が若干いる。

●学内で演奏を沢山しているが、7月の贈呈式の際、演奏会を開催する場合は同窓会に声をかけるように伝えていたはずだが、連絡がなかった。

→定期演奏会に関しては伝えた。また、贈呈式後は特に大きいものがなかったので、言っていなかった。→9月の石原氏の時も演奏していたはず。事前連絡がないと、何をしているのか、どんな活動をしているのかわからない。言われたことは、きちんと実行すること。

→定期演奏会の件は事務局に学生が2人来たが、USBにポスターのPDFを入れてもってきて、「同窓会で、演奏会を宣伝してもらえると聞いて来た」と言い、「誰が言ったの?」と聞くと「うちの団長」との回答だった。同窓会に宣伝に来たとは言わなかった。

●演奏の幅が広がるということでチューバを寄贈したが、どう変化があったのか?

●他大学との合同練習をしているそうだが、久工大のレベルはどれくらい?

→大学から音楽を始めた子が6割。気持ちで音楽を届ける。気持ちで負けない。→ある程度の技術レベルを持ってほしい。もう少し努力が必要なのでは。

2. 新旧の代表による本年の改善点や来年への抱負

①吹奏楽団 (団: 伊藤、副: 林)

団: 本番が多く、練習にあまり時間を割くことができなかった。

副: 設立から2年たっていない。組織が不安定。意見の食い違いが多い。伝達をしっかりとる。演奏会で役職交代。下からの意見も大事、それをくみ取る場を作る。

②コマ大戦プロジェクト (旧: 大西、新: 内木場)

旧: 大会が始まる1か月前にエントリー。ギリギリに作る事が多いので、余裕を持って計画していきたい。一部の人の仕事が偏っている、役割分担をしていきたい。

新: 役割分担について、今後は月1で定例会議を実施し、方向性を決める。1年が多いので役職を絞り切らずにしていく。現在会費を集めていないが、集めることも考えている。会費を集めるということは、「コマをする」意思があるということに繋がる。分からないことを話し合える状態にしたい。

③愁華祭実行委員会 (旧: 古賀、新: 柳原)

旧: 人員不足、1年生の確保が必要。

部所長の仕事が多い、新人の教育ができていない。

同窓会事務局へ相談してほしい。

新: 人員募集の方法が分かりにくかったと思うので改善要。

ここは委員長、ここは誰。分担。

→同窓会役員の意見: 1年生の勧誘のタイミングが遅いのでは。学生が高校に行き、高校の学祭の実行委員会と交流をもってみては。

④学生フォーミュラプロジェクト (新旧: 内藤、つきそい: 木原1年)

新旧: 代表としてのマネジメントをしたかった。

大会中に作業が滞ることがあった。

自分の設計した部品が乗せられなかった。

つ: 半年しか携わっていない。

エンデュランスは走ってほしかった。

ペダルを作っている。